



アクセルフロアブル



殺虫剤分類

22B

農林水産省登録	第22461号
有効成分	メタフルミゾン 25.0%
その他化管法該当成分	ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（1種）1.3%
性状	類白色水和性粘稠懸濁液体
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
有効年限	5年
包装	500mL × 20本

特長

✓ 難防除害虫や既存剤抵抗性害虫に有効
難防除害虫の大型チョウ目やクスジノミハムシにも優れた効果を発揮します。

✓ ローテーション防除に活用しやすい
新しい化学構造の殺虫剤なので、既存剤抵抗性害虫にも有効です。そのため、ローテーション防除に組み入れやすい薬剤です。

✓ 害虫からの食害を停止させます
作物への食害を抑制するため、きれいな作物の生産に役立ちます。

適用作物と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタフルミゾンを含む農薬の総使用回数	
かんきつ	ゴマダラカミキリ	200倍	5～200ℓ	収穫7日前まで	3回以内	主幹から株元に散布	3回以内	
		1000～4000倍	200～700ℓ			散布		
	アゲハ類 ヨモギエダシャク クワノミハムシ ミカンナガタマムシ	1000～2000倍						
		ゴマダラカミキリ				12倍		4～8ℓ
	15倍					8～10ℓ		
	アゲハ類 ヨモギエダシャク クワノミハムシ ミカンナガタマムシ	24倍	10～16ℓ					
もも類 すもも		ケムシ類	1000倍	200～700ℓ	2回以内	散布	4回以内 （樹幹散布は2回以内、散布は2回以内）	
	クビアカツヤカミキリ	1000倍	樹幹散布					
		100～200倍				5～200ℓ		
キウイフルーツ	ケムシ類	1000倍	200～700ℓ	3回以内	散布	3回以内		
うめ	ケムシ類 クビアカツヤカミキリ							
	ケシキスイ類						1000～2000倍	
とうもろこし 飼料用とうもろこし（子実）	アワノメイガ						1000倍	100～300ℓ
		1000～2000倍	100～300ℓ				散布	
	ツマジロクサヨトウ	16倍	1.6～3.2ℓ				無人航空機による散布	
		1000倍	100～300ℓ				散布	
アスパラガス	ツマジロクサヨトウ	16倍	3.2ℓ				無人航空機による散布	
		1000倍	100～300ℓ					
ごぼう	ハスモンヨトウ	1000～2000倍	100～300ℓ				散布	3回以内
	ヒョウタンゾウムシ類	1000倍						
トマト ミニトマト	トマトキバガ	1000～2000倍						
	オオタバコガ ハスモンヨトウ							
ピーマン	オオタバコガ							
なす	オオタバコガ ニジュウヤホシテントウ ハスモンヨトウ							
	ハスモンヨトウ ヒョウタンゾウムシ類	1000倍						
ねぎ	シロイチモジヨトウ	1000倍		100～300ℓ	2回以内	散布		
		8倍	1.6ℓ	無人航空機による散布				
		10倍	2ℓ					
		16倍	3.2ℓ					
ほうれんそう	ハスモンヨトウ シロオビノメイガ	1000～2000倍	100～300ℓ					
	ウリハムシモドキ	1000倍						
	コナガ アオムシ キスジノミハムシ							

キャベツ	ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ オオタバコガ ヨトウムシ ウワバ類	1000～2000倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内		
	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ヨトウムシ ウワバ類	8倍	1.6ℓ			無人航空機による散布			
		10倍	2ℓ						
		16倍	3.2ℓ						
はくさい	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ キスジノミハムシ ダイコンハムシ	1000倍	100～300ℓ			3回以内		散布	
	ヨトウムシ ハスモンヨトウ カブラハバチ類	1000～2000倍							
	コナガ アオムシ キスジノミハムシ ダイコンハムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ カブラハバチ類	8倍	1.6ℓ					無人航空機による散布	
		10倍	2ℓ						
		16倍	3.2ℓ						
	レタス	ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000～2000倍					100～300ℓ	散布
			8倍					1.6ℓ	
10倍			2ℓ						
16倍			3.2ℓ						
非結球レタス			1000～2000倍		100～300ℓ	無人航空機による散布			
			8倍		1.6ℓ				
			10倍		2ℓ				
			16倍		3.2ℓ				
カリフラワー	コナガ アオムシ ヨトウムシ	1000倍	100～300ℓ		2回以内	散布			
ブロッコリー	ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1000～2000倍							
	コナガ	1000倍							
	ヨトウムシ ハスモンヨトウ コナガ	8倍 10倍 16倍					1.6ℓ 2ℓ 3.2ℓ		
	非結球あぶらな 科葉菜類	コナガ キスジノミハムシ				1000倍	3回以内	3回以内	
ハスモンヨトウ	2000倍								
だいこん	キスジノミハムシ ダイコンハムシ	1000倍		100～300ℓ		2回以内	散布		
	ハイマダラノメイガ ヨトウムシ カブラハバチ類	1000～2000倍							
	キスジノミハムシ ダイコンハムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ カブラハバチ類	8倍 10倍 16倍	0.8ℓ 1.0ℓ 1.6ℓ	無人航空機による散布					
		20倍	2.0ℓ						
		かぶ	コナガ アオムシ キスジノミハムシ		1000倍		100～300ℓ	収穫3日前まで	散布

えだまめ だいず	ハスモンヨトウ	1000～2000倍	0.8～1.6 ℓ 1.0～2.0 ℓ 1.6～3.2 ℓ	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
		8倍					
		10倍					
		16倍					
	フタスジヒメハムシ	1000倍	100～300 ℓ			散布	
		8倍	1.6 ℓ				
		10倍	2.0 ℓ				
		16倍	3.2 ℓ				
しょうが	ハスモンヨトウ アワノメイガ	1000～2000倍	100～300 ℓ	無人航空機による散布			
		16倍	3.2 ℓ				
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ ヨツモンカメノ コハムシ	10～16倍	0.8～1.6 ℓ	散布			
		1000～2000倍	100～300 ℓ				
さといも	ハスモンヨトウ	10倍	1.0～1.6 ℓ	無人航空機による散布			
		20倍	2.0～3.2 ℓ				
		1000～2000倍	100～300 ℓ				
食用ミニバラ	オオタバコガ	1000倍	100～300 ℓ	発生初期	6回以内	散布	6回以内
きく	オオタバコガ シロイチモジヨ トウ	1000～2000倍					
花き類・観葉植物 (きくを除く)	オオタバコガ	1000倍					
樹木類 (さくらを除く)	ケムシ類	1000～4000倍	200～700 ℓ	成虫発生直前～ 成虫発生期	6回以内	主幹から株元に 散布	6回以内
さくら	ケムシ類						
	クビアカツヤカ ミキリ	1000倍	5～200 ℓ	—			
		200倍					
たばこ	ヨトウムシ	1000～2000倍	25～180 ℓ	収穫10日前まで	2回以内	散布	2回以内
	タバコアオムシ	2000倍					

※本内容は2025年4月9日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項



- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 使用前に容器を軽く振ること。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節すること。
- 本剤は植物体への浸透移行による効果は弱いので、かけ残しのないように葉の表裏に十分散布すること。
- 本剤をクビアカツヤカミキリに使用する場合は、次の点に注意すること。
 - ・ 樹幹注入で使用する場合は、被害樹の加害痕である木屑排出孔の木屑を除去した後に排出孔内に薬液が滴るまで注入すること。
 - ・ 散布で使用する場合は、樹幹部および主枝に十分量散布すること。
- うめに全面土壌散布する場合は、過度な降雨等により土壌に薬液が染み込みづらい条件では効果に影響を及ぼすおそれがあるので、使用をさけること。
- すももに樹幹散布で使用する場合は、散布液が果実にかかると汚れを生じるおそれがあるので、果実にかからないように十分注意すること。
- みずかけな（水掛菜）、カラー、花はすに使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用すること。また、使用后14日間は入水しないこと。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ・ ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - ・ 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ること。
 - ・ 散布は散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
 - ・ 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ・ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ・ 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
 - ・ 散布終了後は次の項目を守ること。
 - (a) 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
 - (b) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項



- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをする
- こと。
- 樹幹注入の際は手袋などを着用すること。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも使用当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

魚毒性等

この登録に係る使用方法では該当がない。

保管

直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。